

とよやま

No. 171
議会だより
12月定例会

祝 豊山町二十歳の集い



責任と誇りをもって色々なことに挑戦

(関連記事P2・3)

特集「二十歳の集い」..... P2・3

議案PICK UP P4・5

委員会報告 P6

8人が一般質問 P7～15

輝く人を紹介 町のキラッと..... P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>





二十歳の集い

2025年1月4日、会場では、真新しいスーツや華やかな振り袖に身を包み、参加者129人が、節目の日を喜び合いました。





輝かしい未来へ さらなる飛躍を

二十歳の集い

議案 PICKUP

委員会報告

一般質問



議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、
その中身や質疑を詳しく説明します

12月 定例会の あらまし

令和6年第4回定例会が12月2日から16日まで開かれました。専決処分の承認1件、指定管理者の指定1件、道路線の認定1件、令和6年度一般会計・特別会計補正予算6件、計9件の議案が上程され、全ての議案は承認・可決されました。またスカイプールの存続を求める請願書は、継続審査となりました。

議案一覧

令和6年第4回定例会(12月)

番 号	議 案	審議結果
承認第6号	令和6年度一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分	全員賛成承認
議案第65号	学習等供用施設の指定管理者（豊山町シルバー人材センター）の指定	全員賛成可決
議案第66号	令和6年度一般会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
議案第67号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第68号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第69号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第70号	令和6年度下水道事業会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第71号	道路線の認定	全員賛成認定
議案第72号	令和6年度一般会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
請願第1号	「豊山スカイプール」の存続を求める請願書	継続審査

議長は議決には加わりません 太字は以下に掲載

請願 第1号

「豊山スカイプール」の存続を求める請願書

令和6年11月6日に豊山スカイプールの存続を求める会より請願書が提出された。

紹介議員 熊沢直紀、大口司郎、坂田芳郎

付託された総務文教委員会で豊山スカイプールの存続に必要な予算や具体的な計画が示されていないため、願意の妥当性や実現の可能性について現時点で判断することが難しいとの結論に至り、継続審査とすることに決定した。

子ども医療費

635 万円（総額 1 億 2370 万円）

- Q** 子ども医療費が令和5年度決算額から約1200万円増額しているが、要因は。
- A** 受診件数の増加とインフルエンザ、手足口病などの流行が考えられる。子ども医療費は増加傾向にあるので、引き続き適正な受診や感染症予防の徹底に努める。

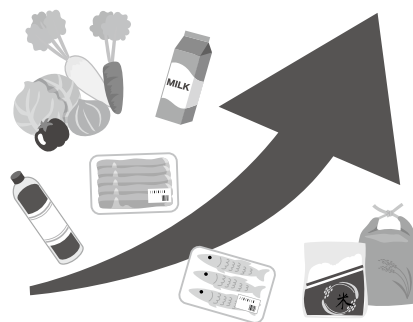
保育園の給食材料費

212 万円（総額 2262 万円）

- Q** 給食材料費の増額の要因は。
- A** 当初予算にも物価高騰を見込んで計上したが、見込みより各食材費が高騰しているため。

R5年度と
比較した上昇額

お米	167円/kg
豚肉	70円/kg
三温糖	20円/kg
牛乳	10円/L



高齢者おでかけ支援事業

68 万円

おでかけパスを令和7年4月から利用できるように準備をする

- Q** 町長は、この事業をどのように受けとめているのか。
- A** 高齢者の方の外出や社会参加のきっかけとなり、生きがいや健康増進の一助となればと思っている。

財政調整基金

繰出 2769 万円（残高 11 億 5179 万円）

- Q** 財政調整基金の残高は、どれくらいが適正と考えているのか。
- A** 今後、大幅な減収のほか、災害その他不測の事態に対応するため、ある程度の積立は必要であり、身の丈に合った効果的な財政運営を進めていきたい。

委員会報告

総務文教委員会

令和6年

7月 8日 志水小学校トイレ改修の現状と今後の見通し

8月26日 現地調査

新栄小学校のトイレ改修工事の進捗状況

旧給食センターの現状

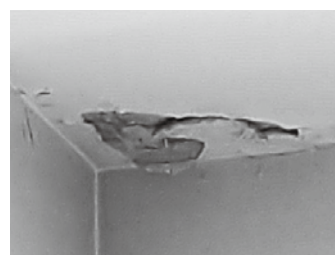
豊山中学校の損傷状況



中学校屋上の雨漏り調査

12月19日 志水小学校トイレ改修工事の今後の対応

志水小学校トイレ改修工事については、工期や子どもたちの学習環境へのリスク、国庫補助金採択、入札執行時期などさまざまな検討を行った結果、令和7年度事業として工事を検討しているとの報告を受けた。今後も継続して調査をしていく。



劣化が進む中学校の天井

基幹的広域防災拠点等特別委員会

令和6年

7月 3日 進捗状況

7月17日 住民説明会の事前説明

8月23日 臨空第2公園基本計画(案)

10月28日 進捗状況



工事が進む調節池

詳しくは、愛知県防災危機管理課防災拠点推進室のページでご確認いただけます



議会運営委員会

令和6年5月7日、5月15日、6月26日に、一般質問における議場モニター画面の使用について議論を行い、使用基準を策定しました。

議員のタブレット研修会を開催し、令和6年9月議会からモニター使用を開始しました。

一般質問
ラインナップ

あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

12月9日(月) 8人が質問に立った。

一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	岩下 竜也	○服部町長の町政を預かる覚悟について ●町長の適切な財政運営のお考えとは	P. 8
2	岩村みゆき	○スカイプールの存続と活用について ●体育館への空調設備について ●投票率の向上を ○景観や防犯に影響する道路の草について	P. 9
3	熊沢直紀	●豊山スカイプールの今後について ●中学校校舎の建替えについて ○防災拠点豊山エリアについて	P.10
4	岡島 剛	●服部町長のマニフェストについて	P.11
5	作野桂子	●公共施設マネジメントの明確化を ○子ども条例の策定を	P.12
6	水野 晃	●地籍調査の現状と対策	P.13
7	岡島政信	●豊山中学校の校舎改築について ●豊山スカイプールの今後について ○防災・防犯対策について ○自治会加入について	P.14
8	坂田芳郎	●豊山グラウンドの抽選に付き	P.15

◎全文記録（議事録）は、2月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



いわした たつや

岩下 竜也 議員

IWASHITA Tatsuya

Q. 今後の町政運営の行方は

A. 大変厳しい状況が続く

新町長に対し町政運営の覚悟やリーダーとしての資質に疑問が呈されている。

所信表明の内容と実際の言動との矛盾についても質問し、町政の舵取りを担う覚悟があるのか答弁を求めた。自ら「新給食センター」の設置という大きな投資を行いながら「過剰な投資をすれば経営は立ち行かなくなる」と主張しているが、服部町長の公約である「スカイプールの改修・存続こそが、町の身の丈に合わない過剰な投資である」と考える。地方債、つまり借金の多くは、服部氏が町長時代に設置した「新給食センター」の借金返済である。

町長が選挙で掲げた「中学校建て替え計画の見直し」に関して、7年前に自ら公表した方針との矛盾を指摘した。過去に約「5200万円」もの税金が投じられた計画を撤回する決断には説得力が欠け、町民の信頼を損ねる恐れがある。学校施設の老朽化による問題を解決するため、町

長は見直しの具体的内容や財源確保の方法を町民に説明する責任がある。

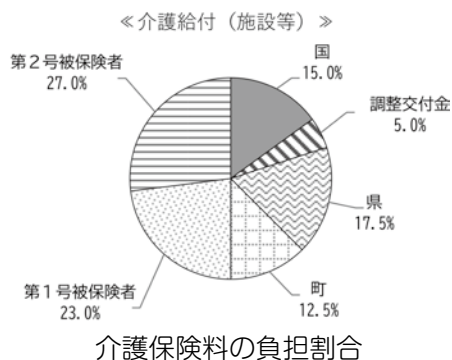
豊山町立豊山中学校（以下「豊山中学校」という。）は、町内唯一の中学校として、昭和38年に竣工し、現在は築後約60年を経過している。これまでに随時修繕等を実施してきたものの、校舎の長寿命化改修の適正時期が過ぎていることから、本町が平成31年3月に策定した「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」（以下「改築・長寿命化計画」という。）において、豊山中学校は改築整備を前提に検討を進めることとした。また改築にあたっては、改築・長寿命化計画でまとめた目指すべき姿や整備水準等を踏まえた検討を行うこととした。

服部町長が計画した豊山中学校改築基本計画

「豊山スカイプールの存続」に向けた具体的方針と公約実現への覚悟についても住民から懸念の声が届いている。住民からの大きな期待が寄せられる中、具体的な行動が見られず、管理体制や予算確保の計画が不明瞭なままである。

次に、町長が公約や所信表明での「介護保険料の高額化」について指摘し、介護保険制度では3年ごとに事業計画を

策定しており、法律に基づいて介護保険料を算定している。また、一般会計からの補填ができないため、具体的な引き下げ策や財源の見直しプランがあるのか求めた。現在は、考えがなく、公約は実際の制度運営と矛盾している。また、すべての公約に具体性がない事が明らかとなった。「20年先、30年先の豊山」を見据えているのか、疑問があり、町民に対する説明責任を果たし、透明性の高い運営を進めるべきと考える。



町長が発言された「町財政の甘い見直し」についてどの様に感じていたのか。

A 町長

人件費や扶助費など経常的経費のほか、ここ数年で借り入れを行った地方債の償還が始まり、公債費も増加していくことから、大変厳しい状況が続くものと思う。

Q 今後の課題について伺う。

A 町長

中学校とか公共施設とかそういうものの建て替えは時代によってやってくる。

Q 前鈴木町長は10%の報酬カットを実施し、町財政に貢献した。町長ご自身も財政が厳しい状況にあると発言されるのであれば「7000万円」弱の報酬を受け取られている中で、自身の報酬を削減する意向がないのはなぜなのか。

A 町長

20%カットをして、町民の皆さまが喜んでいただければ、分らない。それよりも、他のことでしょうかと財政運営を、計画していく。



いわむら
岩村みゆき 議員
IWAMURA Miyuki

Q. 投票率の向上を

A. 先進事例を参考にする

Q 令和6年10月27日の衆議院議員選挙の豊山町の投票率は49.89%と全国平均よりも3.96ポイント下回り、50%を切っている。愛知県内でも下から数えた方が早いくらい低い。現状の要因をどう分析されているのか。

A 総務部長

先の町長選挙や町議会議員一般選挙においても、投票率が50%を下回るなど減少傾向にあることから、選挙の種類に限らず、有権者の選挙への関心が低いことが推察され、選挙管理委員会事務局としても大変危惧している。

Q 若い世代へ投票を促すための手立てが必要と考える。お考えは。

A 総務部長

特に、若い世代は広報紙や選挙公報を目にする機会が少ない。SNSを積極的に活用するなど、他自治体の先進事例を参考に選挙啓発方法を検討する。

Q 関市では有権者に「選挙パスポート」をお渡ししている。選挙のたびに投票所でスタンプを押すことで、選挙へ行った忘備録として活用している。スタンプを押せる欄が100回分あり、楽しみながら100%を目指すものである。豊山町でも導入してはどうか。

A 総務部長

新たに有権者となる方をターゲットとして、先着順でパスポートを配布するなど、自治体によってさまざまな工夫がされている。今後は、こうした自治体の先進事例を参考に導入に向けた調査研究を行ってまいりたい。

Q 期日前投票についても工夫をしては。

A 総務部長

移動投票所の開設などには「二重投票」を防止するための投票管理システムの導入が必須となる。システム導入にかかる経費の費用対効果を考慮のうえ検討する。

Q. 体育館への空調整備を

A. 必要性は高まっている

Q この夏の猛暑は大変厳しいものであった。児童生徒の熱中症、特に運動時には最大限に注意が必要である。災害時には避難所となる学校の体育館への空調整備は最優先課題と考えるが、町長はどのようにお考えなのか。

A 町長
現在、小中学校体育館における熱中症対策は、暑さ指数(WBGT)を日々繰り返し測定しながら、体育館の利用時間を変更したり状況に応じてスポットクーラーや大型送風機などを使用している。しかし、避難所としての役割を踏まえると、今後さらに空調機能を強化する必要性は高まっていると考えている。

Q 予算化についてはどう考えているか。

A 町長

中学校体育館については令和5年度に行った空調設置にかかる実施設計を基に現在、工事の実施に向けて予算化の検討を行っている。

小学校体育館については、町の財政状況も鑑みながら、さらなる空調機能の強化について検討してまいりたい。



体育館にも暑さ対策を



くまざわ なおき

熊沢直紀 議員

KUMAZAWA Naoki

Q. 豊山スカイプールの今後は

A. 方向性を慎重に検討

鈴木前町長は、今後40年間公共施設の建て替えなどで328億円必要であり、財政難になる。よって、指定管理者との契約期間が終了する令和6年度をもってスカイプールを廃止することであった。9月議会においても、教育委員会がプールを廃止するとの答弁後、町長の答弁として、休止することであった。令和7年度は新たに条例を改正して、町内・町外の使用料の差額を設け、値上げを行い、試験的に開場してはとの質問に「行わない」との冷たい答弁であった。

◎ 服部新町長は豊山スカイプールを今後どのようにしていけるのか尋ねる。

▲ 町長 スカイプールは住民の皆さまからのご意見をしっかりと受け止め、再開を含めた方向性を慎重に検討して行く。

施設の安全性確保や運営財源の確保が課題であり、改修費用や利用料金の見直し、駐



車場確保策などを含む具体的な計画を進めていく。また、町外利用者の料金設定を含む持続可能な運営手法の模索も進めていく。



豊山スカイプールの今後は

Q. 中学校校舎の建て替えは

A. 築80年までを目安に運用

鈴木前町政では、1963年に建築された中学校は、築後61年過ぎたから建て替えなければならないとのこと。「多くの改造費および修繕費をかけている中学校を60年を経過したから取り壊して建て替えしなければならないのか。まだ本体はしっかりしており、十分使用可能ではないか。」との質問をしたが、前町長はすみやかに建て替えを検討していくとのこと。

◎ 服部新町長の考えを伺う。

▲ 町長 極めて大きい財政負担が生じると考えられる豊山中学校の改築事業については、町財政の持続可能性の観点からその計画の見直しを行う。今回、中学校の改築基本計画を



中学校校舎の建て替えは

見直しする大きな理由は、臨空第2公園の整備と並行して改築を行うには財政負担が大きすぎることである。したがって、まずは、臨空第2公園の整備を推進し、中学校については、随時補修などで対応しつつ築80年までを目安に運用し、改築を検討していく。



おかじま つよし
岡島 剛 議員
OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 病児保育室の設置は

A. 近隣自治体の状況を調査研究

今回の選挙で服部町長は「子育て世代への支援・教育の充実」「高齢世代への対応」「防災、防犯対策」「経済・産業への支援・活性化」と、大きく4つのテーマでマニフェスト（選挙公約）を掲げられた。また、町長を1期務めた経験と民間企業での社長として培ったノウハウを活かし「役所と民間のいいところ取りを目指す。私自身も町と一緒に成長していきたい。」と新聞に掲載され、さまざまな場所で「敵味方を超えて、豊山町をひとつにしたい」と述べられている。しかし、残念ながら12月議会初日に聞いた町長の所信表明では、マニフェストで示されている期待した内容、特に町長が言う「豊山ブランド」について具体的な中身が一言も聞けなかった。確認のため質問する。

◎ 妊娠中から、産後にかけて、母親の体調不良などの理由により家事を行うことが困難で、家族からのサポー

トが十分受けられない場合など、支援が必要な家庭へヘルパーが派遣されている。この事業の充実と病児保育施設の設置についてどのように考えているか。

A 生活福祉部長
子育てヘルパー派遣事業

は、令和3年度から実施している。令和6年度からヤングケアラーや要保護児童などが

自治体名	施設名	運営
清須市	はあとキッズ	医療法人はあと
北名古屋市	こぐま病児保育室	師勝クリニック
小牧市	病児保育室ポケットクラブ	はやしこどもクリニック
小牧市	病児保育室ゆうかり	小木こどもクリニック

近隣市の病児保育施設

いる家庭も対象にして、対象者の拡大を行った。利用状況の推移を見守るとともに、利用者のご意見を伺いながら制度の拡充を判断したい。

病児保育は、現在、本町では実施していない。北名古屋市と小牧市の施設を紹介している。

病児保育事業を安定して運営していくには医療機関が適しているため、医療機関内に設置されているところがほとんどである。

本町における病児保育施設設置については、近隣自治体の状況を調査研究していく。

◎ 75歳以上の高齢者の外出支援や社会参加の促進を目的に、とよまタウンバスの高齢者割引を行う、高齢者おでかけパスの現状評価とデマンド交通との今後の展開について聞く。

A 生活福祉部長

高齢者おでかけパスは、令和6年9月から本格実施している。令和6年度の対象者



本格実施が始まった
高齢者おでかけパス

2227人に交付申請書を送付し、11月末現在で1220人から申請があった。のべ利用者は、9月は1115人、10月は1219人、11月は1263人であった。

タウンバスを利用した方が月平均で1000人以上いる現状を見ると、高齢者の方の外出や社会参加の促進に繋がっているのではないかと考えている。引き続き実施したい。

A 産業建設部長

デマンド交通の今後の展開については、令和6年12月から3カ月間、実証実験を行い、実証実験で得られた利用状況やアンケート結果、地域公共交通会議での意見などを踏まえながら、今後の方向性を検討していく。

Q. 適正な公共施設の面積は

A. 議論を行う時期にある



さく の けい こ

作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

二十歳の集い

議案 PICKUP

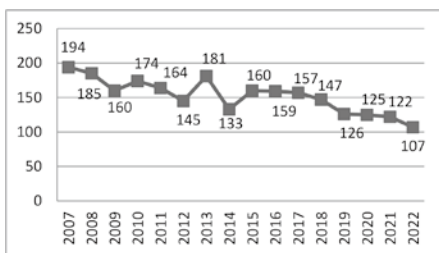
委員会報告

一般質問

私は以前から公共施設マネジメントに問題意識を持っており、令和5年9月議会でも同様の質問をしている。

選挙で服部町長が訴えられたように、厳しい財政状況の中、今後、小中学校や保育園など多くの公共施設で本格的な更新・修繕が必要である。現在ある施設をこのまま維持していくことは、子どもたちに大きな負担を残し、真に必要な行政サービスにまで影響を及ぼしかねない。

公共施設は、一つ一つではなく、将来ビジョンや基本方針・計画を明確に示し、町民の皆さまと一緒に考え、合意形成を図る必要がある。



減少傾向にある出生数

服部町長は「出生数が減少しており、小学校の統廃合など新たな課題が生じかねない」と主張している。

小中学校の統廃合についてどのように考えているのか。

A 町長

一般的な学区再編や統合を検討すべき条件には至らないが、今後の人口動態次第では小中一貫校や小学校の統合も視野に入れる必要がある。

一方で、小学校の在り方は、地域コミュニティなどと深く関わりがあり、児童数を重視した議論は豊山町にとつて大きなリスクがある。

小学校の持つ地域的意義などを考慮し、十分に地域住民の理解と協力を得て行うことが重要であり、地元学区からの要望を受けて進める姿勢が基本となる。

Q

中学校の教室は子どもたちが座り、バッグをかけると席と席の間を通るのが難しい程狭い。また、子どもたちはコロナ禍同様、同じ方向



文科省も教室を広げるよう通知

を向いて給食を食べている。中学校の建て替えは先延ばしをして良いと考えるのか。

A 町長

公立小中学校の教室の広さについて国の基準はなく、実態に合わせて設置者が整備している。しかし、中学校のよりよい学習環境の実現に向けた課題については何ができるか、改善策を考える。

Q

国で議論されている「103万円の壁」影響額は、総務部長現在議論されている見直しに準じて試算すると約3億5000万円減収する見込み。

A 総務部長

Q

公共施設の総量を人口や財政規模に合った適正水準とするため、数値目標を設定する必要がある。町民一人当たりの延床面積の数値目標はいくつか。

A 総務部長

必要以上の施設が存在しているわけではないが、厳しい財政状況の中、長寿命化や統廃合という選択肢を含めた議論を行わなければならない時期にあると考える。

Q

服部町長は「このままではとやまがダメになってしまう」「子どもたちに背負いきれないほどのツケを残すことは、あまりにも無責任」だと訴えられた。公共施設マネジメントの基本方針と具体的な方策はあるのか。

A 町長

厳しい財政状況や小中学校を利用する子どもたちへの影響を踏まえつつ、優先すべき施設を総合的に判断しながら計画を策定し実行すべきだと考えている。



みずの あきら
水野 晃 議員
MIZUNO Akira

Q. 地籍調査の実施は

A. 着手に向けて検討する

地籍調査は、国土調査法に基づいて行われる土地の調査で、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査である。

南海トラフ地震は30年以内に、70～80%の確率で発生すると予測されている。地籍調査をしていないと、災害復旧に遅れが生じる。地籍調査は重要であり、町民の皆さまに理解を求め、調査を進めなければならぬ。豊山町は、どのように考えているか。

◎ 豊山町の地籍調査進捗率は0%であり、調査は未着手状態である。

近隣他市町の進捗率は、北名古屋市は49%、清須市は8%、春日井市は14%、小牧市は14%、名古屋市は7%である。なぜ、豊山町は0%なのか。

▲ 産業建設部長
地籍調査が進まない一般的な要因としては、地籍調査の必要性や効果が住民に十分理

解されず、調査に向けた機運が高まらないことなどが挙げられる。本町においても、このような背景から地籍調査が進んでいない状況と考えている。

◎ 地籍調査の必要性和実施についての考えは。

▲ 産業建設部長
地籍調査の必要性やメリットとしては、公共事業の円滑化、災害後の早期復旧、課税の適正化・公平化、土地取引の円滑化などが挙げられる。現在、本町では、直近で

地籍調査の実施予定はないが、地籍調査の成果と同様の取り扱いができる国土調査法第19条第5項の指定制度の活用を検討している。

◎ 平成23年度に策定した豊山町地籍調査事業計画から約14年経過している。現在の進捗状況は。

▲ 産業建設部長
計画では空港敷地などを除く、3.83平方キロメートルを町の目標調査面積と定め

ている。現在まで地籍調査の実績は無い。

◎ 地籍調査には経費がかかる。土地の所有者には経費がかからないと理解しているのか。

▲ 産業建設部長
地籍調査を実施するための経費は、国、県、市町村で負担することになるので、土地所有者の費用負担はない。ただし、土地境界の立ち合いに係る交通費は自己負担となる。

◎ 今後の地籍調査実施についての町長の考えは。

▲ 町長
現在、本町の地籍調査の

進捗率が0%であるという実情を踏まえ、今後、地権者である町民の皆さまのご意向もお聞きしながら、地籍調査の着手に向けて検討していきたいと考えている。

そのような中、まずは愛知県基幹的広域防災拠点と豊山町臨空第2公園の整備に合わせて、国土調査法第19条第5項の指定制度を活用していきたいと考えている。

また、指定制度の活用の際としては、愛知県と密に連携を図るとともに、国の補助メニューを最大限に活用し、土地の測量や調査に係る町の費用負担の軽減に取り組んでまいります。

なぜ地籍調査をやっているの？

地籍調査をしないとこんな困ったことに



地籍調査が行われていない場合、このようなトラブルが発生することがあります。

国土交通省
地籍調査 Web サイトより



おかじま まさのぶ

岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

Q. 学校施設改築・長寿命化計画は

A. 見直しは必要

豊山町の公共施設の中で、豊山中学校と豊山小学校が最も古い建物である。また、中学校は1校だけで、1963年に建設され、61年が経過している。

中学校施設整備基本構想会議で「目指すべき中学校のあり方」が示された。実施設計などを進めるにも5年程かかる。

今後、中学校の他にも50年が経過する公共施設があり、今の段階から改築を進める必要性を感じる。公共施設の改築は豊山町には1校しかない中学校から進めるべきだと考える。

◎ 今回小学校より中学校を先に改築計画に踏みきった背景は。

◎ 教育委員会事務局長

◎ A 本町の中学校は1校であることから、全ての生徒が等しく新しい校舎で学習できる環境を整備することが大切との考えの下、豊山中学校から改築計画を進めることとした。



築後 61 年の豊山中学校

◎ 今回、町長は中学校の建て替えを12年延ばすとマニフェストに掲げられた。学校施設改築・長寿命化計画の見直しが必要になると思うが、町長の考えは。

◎ A 町長

学校施設改築・長寿命化計画の見直しは必要だと思っている。

その策定の中でしっかりと計画を進めていきたい。

Q. スカイプールは来年稼働か

A. 来年度の営業再開は難しい

老朽化により多額の改修費が必要とされているスカイプールは、令和6年9月議会において、鈴木前町長が当初の「廃止」方針から「休止」に変更され、活用方法を検討することが示された。私は、プールを現地調査した結果、大幅な改修が必要と感じた。

◎ スカイプールが「休止」に至った背景について再確認する。

◎ A 教育委員会事務局長

スカイプールは、老朽化と町民利用率の低下から、一度は「廃止」が表明されたが、その後「休止」に方針を変更し、将来的な活用方法の検討が示唆された。



休場中のスカイプール

◎ スカイプールは来年度、安全性を確保した上で、稼働可能なのか。

◎ A 町長

安全性の確保や運営課題の解決に向けた準備が必要であることから、来年度、直ちに営業再開は、難しいと考える。

改修計画を進めつつ、安全性と財政健全性の両立を目指して対応していく。



さかた よしお
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 豊山グランドの抽選は

A. 無作為の自動抽選で 公平性を確保

指摘を受け、確認・見直しをお願いする。

社会教育センター所管施設の予約は、令和4年4月から利便性向上の為に、予約方法が変更された。以後、3年近くが経過。

豊山グランドの使用予約要件については、登録団体の人数が在住在勤10人以上が絶対である、との事。これを満たせば使用申し込み重複時においても、相手団体が30人であれば50人であれ、対等の立場で午前・午後・夜間との使用区分抽選に立てると。また抽選手立ては、コンピューターシステム（電子的）に於いて深夜自動的になされると聞いている。

然し乍ら、抽選とは一切の疑念払拭の為、公開・アナログ（物理的）が望ましいと考える。

従前より、現在においても「宝くじ」の抽選結果に疑念を持つ方はいない。ここで尋ねる。

Q 10人に満たない団体でも利用できる「グランド」はどこがあるか。何つ。

A 教育委員会事務局

屋外運動施設の利用を希望される10人に満たない団体の皆様には、「伊勢山スポーツ広場」や学校教育に支障のない範囲で地域住民の皆様が開放している「町内小中学校の運動場」をご案内しております。

Q 利便性向上とは言え、疑念を抱かれるのは行政として得策ではない。目視確認を現実とする為、公開・アナログをもとめる。

A 教育委員会事務局

社会教育センター所管施設の予約は、多数のお申込みをいただいた場合、コンピューターによる抽選を行っています。

コンピューター導入前は、先着順で受付を行っていたため、長時間窓口に並ぶ必要があり、利用者の中には、お仕事を休んで並ばれている方も

見えました。導入後は、来館せずに申し込みができるため、利用者の利便性を向上することができました。

導入したコンピューターによる抽選は、多くの自治体に導入されている信頼性の高い施設予約システムであります。

完全無作為の自動抽選により、公平性を確保しております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。



豊山グランドの抽選は

輝く人を紹介

町のキラッと

BMXで世界へ挑戦

豊山中学校 西下紫音さん

令和6年9月27日(金)に行われた、国内最高峰の大会「マイナビ Japan Cup Yokosuka」BMX フリースタイル・パークにおいて男子13-15の部で第3位の成績をおさめられました。

いつから始めたのか、始めたきっかけは

小学1年生でテレビを見てカッコいいと思って始めました。

やってよかった事は

やり始めてから、同じ趣味を持つ友達が増え、自分に自信ができました。それによって毎日の楽しみが増え、日常がより充実しました。

一番のパフォーマンスは

「360ダウンスайдテールウィップ」です。この技をこのクラスでやるのは自分だけで、成功した時は本当に嬉しい気持ちになります。

今後の目標は

次の大会からはエリートクラスで世界ランカーと戦うことになります。まずは表彰台に登り、実績を積み重ねて世界へ挑戦したいです。将来的にはオリンピックにも出場したいと考えています。また、少しでも多くの豊山町の皆さまにBMXを知っていただけるよう活動していきたいです。



BMXとは？

BMXは「Bicycle Motocross」の略で、小型自転車を使ったスポーツやその自転車を指します。BMXフリースタイルは、トリックやアクロバットを披露する競技で、ストリート、パーク、フラットランドなどの種類があります。小型で頑丈な専用自転車を使用し、スピードやアクション性が魅力のスポーツです。

編集後記

町長選挙後、初の定例会。住民の皆さまの注目度が高まり、この定例会の傍聴者は55人。YouTubeの再生回数も過去最高を更新しています。傍聴者アンケートも39人の方からご協力いただきました。

3回以上傍聴をして下さった方から「議員も勉強をして質問も簡潔にして欲しい」「職員さんの話は分かりやすかった」と、初めて傍聴をした方から「ボールの再開、中学校改築の中止など気になっていた内容を質問されていた為、理解が深まった」などたくさんのご意見をいただきました。今後の議会運営や議員活動の糧にしていきたいと思っています。

岩村 みゆき

二十歳の門出を祝して

長年にわたり
お祝いの花を秋田
ノリ様に協力い
ただいております。
ありがとうございます。



広報編集委員

委員長 岩村 みゆき
副委員長 作野 桂子
委員 岡島 政信
岡島 剛
岩下 竜也

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れすることを禁止されています。
有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。

次回定例会の予定

3月 3日(月) 開会・議案説明
3月10日(月) 一般質問
3月11日(火) 議案質疑
3月12日(水) 福祉建設委員会
総務文教委員会
3月13日(木) 予算決算特別委員会
3月14日(金) 予算決算特別委員会
3月18日(火) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)です。
議事の都合により、日程が変更になる場合があります。